



ANAN
city

概要版

咲
かせよう

夢・未来計画

2028

ニイマルニイハチ



「あなん」

阿南市イメージアップキャラクター



阿 南 市
総 合 計 画
2021

2028



ごあいさつ

先人の積み重ねにより、恵まれた自然や豊かな産業、歴史文化がイキイキと共生する阿南市は、紛れもなく「有り難い」ふるさとして。

子どもたちが将来「あの頃の大人たちが頑張ったから」と、先達に感謝しながら次代を担う。そうやって「恩送り」の連鎖が生まれたらいいなと、現在を懸命に生きています。

一方で、少子高齢化も災害も温暖化も、残念ながら私たちの歩調に合わせて待つてはくれません。それどころか、誰も予測できない事態による急激な社会の変化に、自らスタイルを変えて生きて行かなければならないと、コロナ禍が教えてくれたばかりです。

この度策定した「阿南市総合計画2021▼2028」咲かせよう夢・未来計画2028」

は、そんな先行きの不透明な時代を前に進むための羅針盤として、様々なご協力を得てつくりました。

将来世代に「重荷」を残さず、地域の資源を宝として遺すために、これまでは他人ごとだったかも知れない「まち全体のこれから」を、一人ひとりの「自分ごと」に引き寄せて欲しいと願っています。

また、住む地域や立場の隔たりで、つながりが希薄だった多様な人材や組織が自ずと協和する優しい風土や場所によって、新たな価値や、どんな変化にも強い「しなやかさ」が地域に生まれます。

計画は決して万能なものではありませんが、「成長する未来計画」として、時には不断の見直しも辞さない柔軟な姿勢で臨んでまいります。多くの皆様の目に触れることを願うばかりです。

これまでの「できない」をこれからの「できる」に変えたい、そう誰もがチャレンジできる阿南市を想い、ご挨拶いたします。

令和三年三月

阿南市長 表原立磨

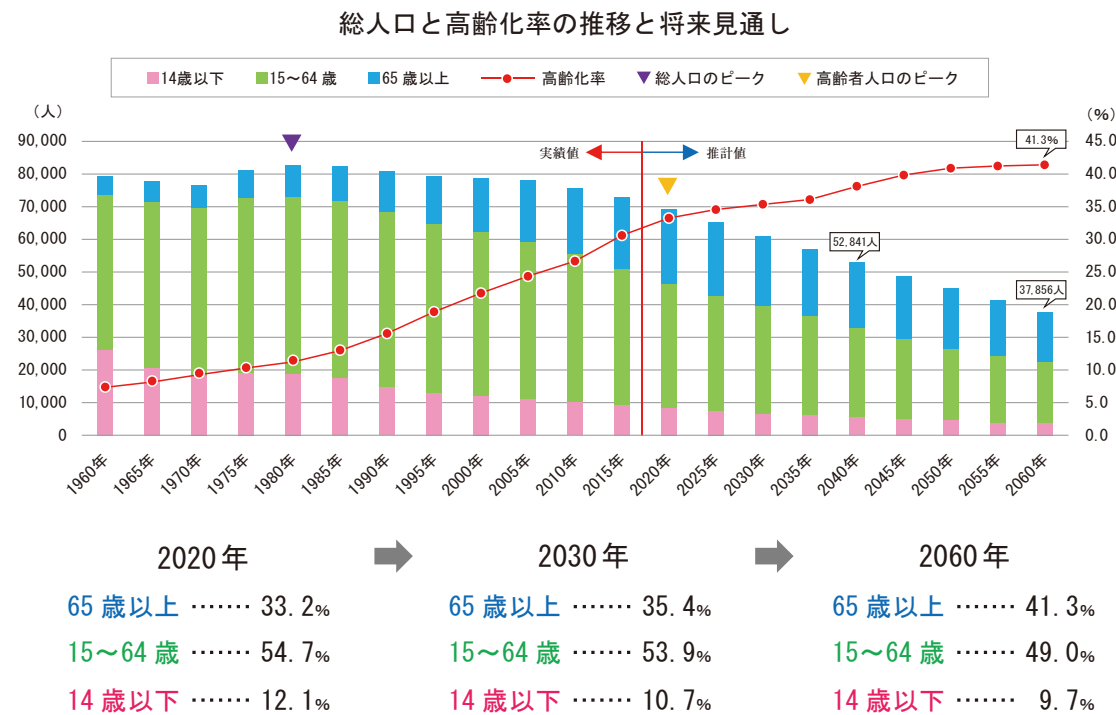
THE FUTURE
将来像

多様な産業が咲き誇る
生涯チャレンジ都市
阿南

▶▶▶ 人口減少と少子高齢化

国立社会保障・人口問題研究所の平成30年度推計を基に、本市の将来人口を推計したところ、2040年には約53,000人、2060年には約38,000人と、40年間で総人口の半数近くまで減少すると見込まれました。

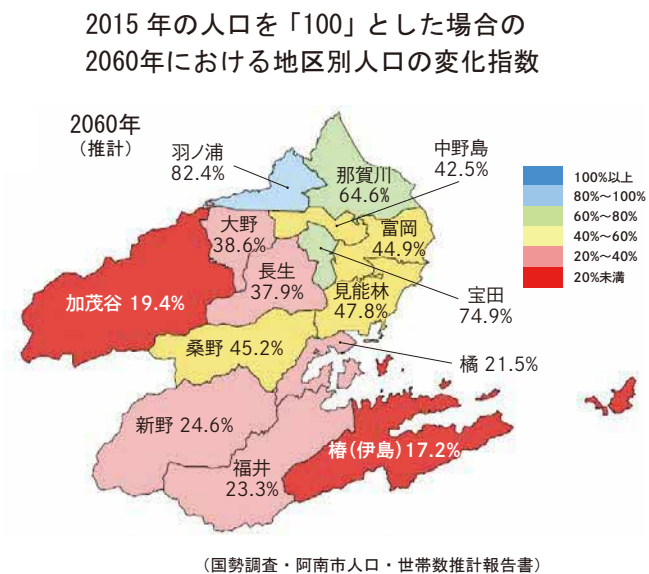
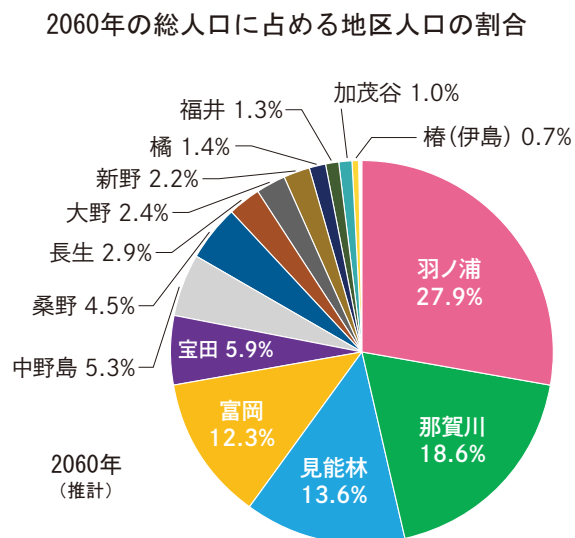
今後、15歳未満の「年少人口」と15歳から64歳までの「生産年齢人口」は、加速度的に減少し、高齢化が一層進むことが予想されます。



(国勢調査・阿南市人口・世帯数推計報告書)

▶▶▶ 地区別人口の将来動向

2015年の人口を「100」とした場合の2060年における人口変化率を地区別にみると、加茂谷・新野・福井・椿(伊島)地区の人口は、2割程度まで減少すると予想されています。また、2060年における人口の分布は、総人口の46.5%の人口が那賀川・羽ノ浦地区に集中し、人口の偏在が顕著になることが見込まれています。



(国勢調査・阿南市人口・世帯数推計報告書)

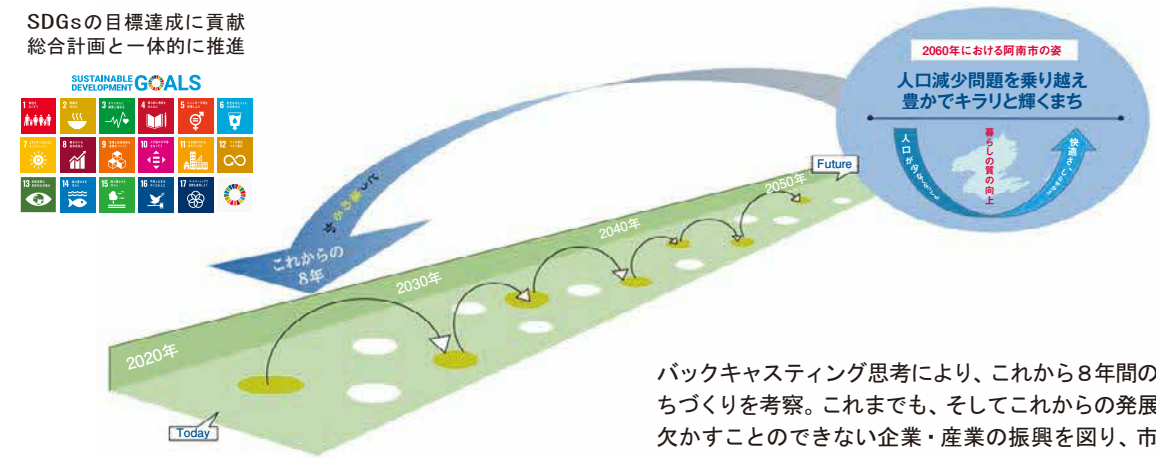
▶▶▶ 長期ビジョン

本格的な人口減少社会を迎えた今、すべての市民がしあわせに暮らすことができる持続可能な社会の形成に向けては、これまで本市の経済や暮らしを支え、けん引してきた個性豊かで多様な企業・産業の更なる成長・発展を基盤に、まちの魅力や強みに市民と共に更に磨きをかけ、未来につないでいく必要があります。

また、市民・企業・行政など地域社会を構成するすべての主体が共に連携し、新たな発想と未来志向の進取の気風で、夢と希望を持ち、「新しい地域の姿」を描き出していく必要があります。

人口減少社会を前向きに捉え、すべての市民の力を結集し、未来に対する夢と希望、そして環境の変化や多様化に適応する“しなやかさ”を持って、前例のないまちづくりに挑戦する、すなわち「戦略的に縮む」ことを目標に、令和の時代の新しいまちづくりを目指します。

2060年への道標
人口減少社会に立ち向かい“豊かでキラリと輝く”まちへ
～ 快適さ しなやかさを 今以上に ～



バックカスティング思考により、これから8年間のまちづくりを考察。これまで、そしてこれからの発展に欠かすことのできない企業・産業の振興を図り、市民一人ひとりが自分らしさや生きがいをもって何度でも挑戦できる地域社会の実現を目指すこととしました。

▶▶▶ 2028年の都市像

多様な産業が咲き誇る
生涯チャレンジ都市 阿南

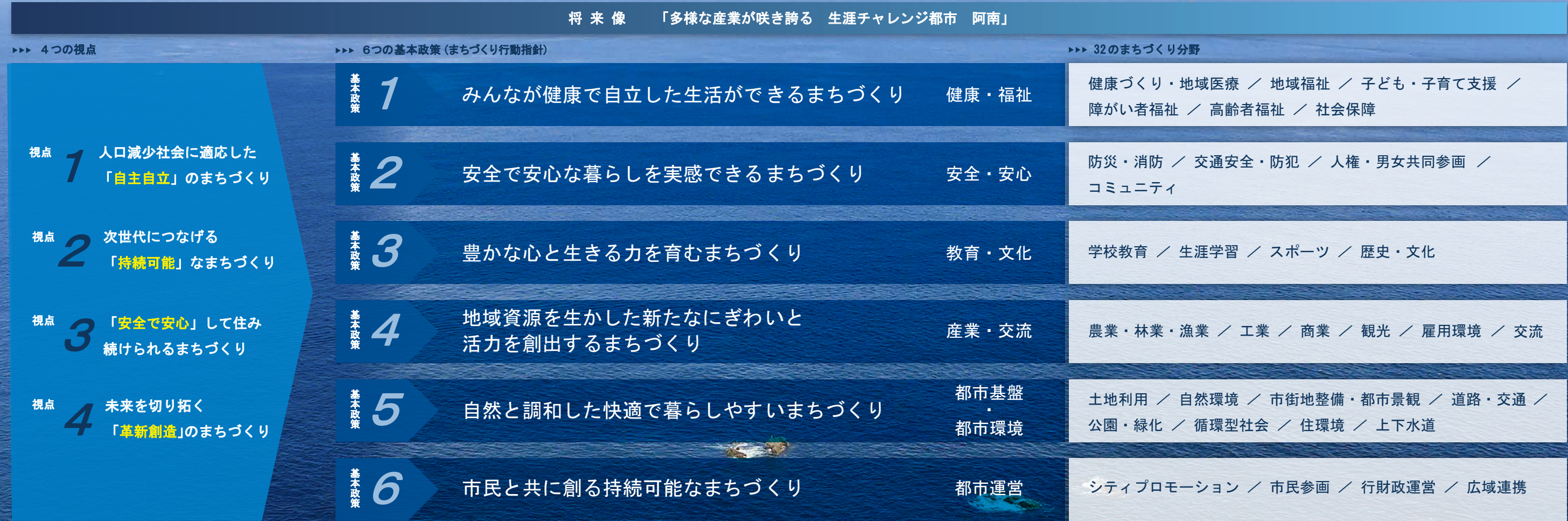
多様な産業が咲き誇る

四国横断自動車道や阿南安芸自動車道の開通を視野に入れ、5G(第5世代移動通信システム)などの未来技術の地域社会への実装など、本市の秘めたる可能性を開花させるための新たなインフラや地域資源を生かした産業の更なる振興と多様化を進め、次世代・未来につながる新たな産業を創出しながら、本市の魅力と持続可能性を高めていきます。

生涯チャレンジ都市

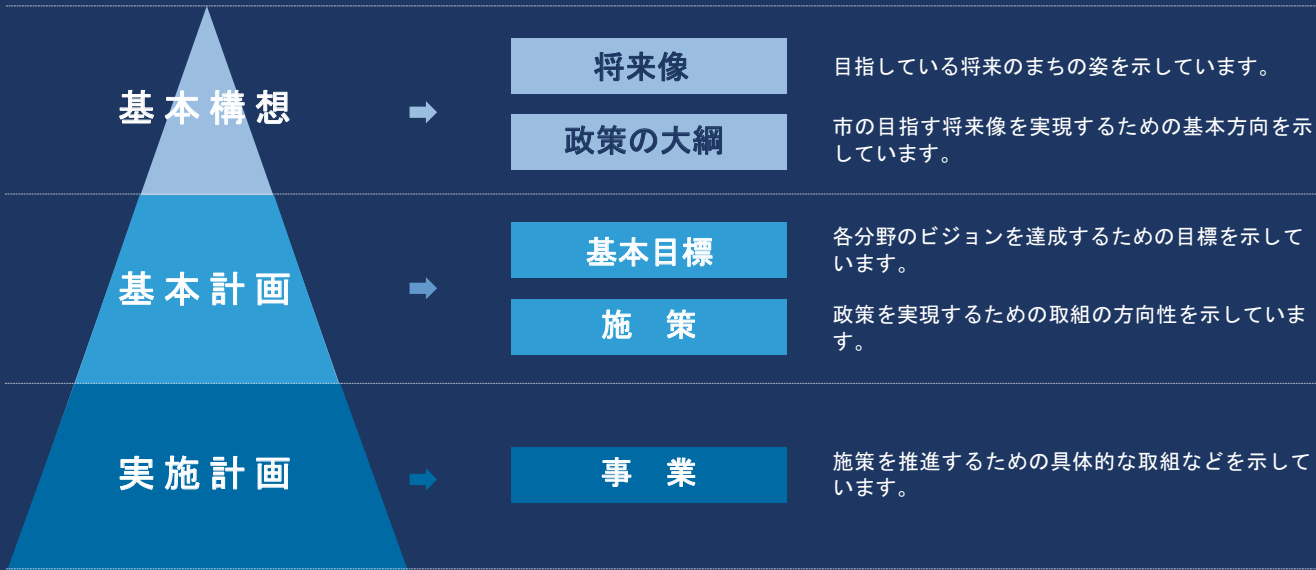
子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが自分らしさや生きがいを発見し、生涯にわたり主体的に何度も挑戦し、活躍できる地域社会を実現します。チャレンジ精神の醸成により、地域課題の解決やまちの将来に対する市民の関心を高めることにもつなげ、SDGsにある「パートナーシップで目標を達成」する、持続性のある都市を目指します。

将来像を実現するための
4つの視点と6つの基本政策と32のまちづくり分野



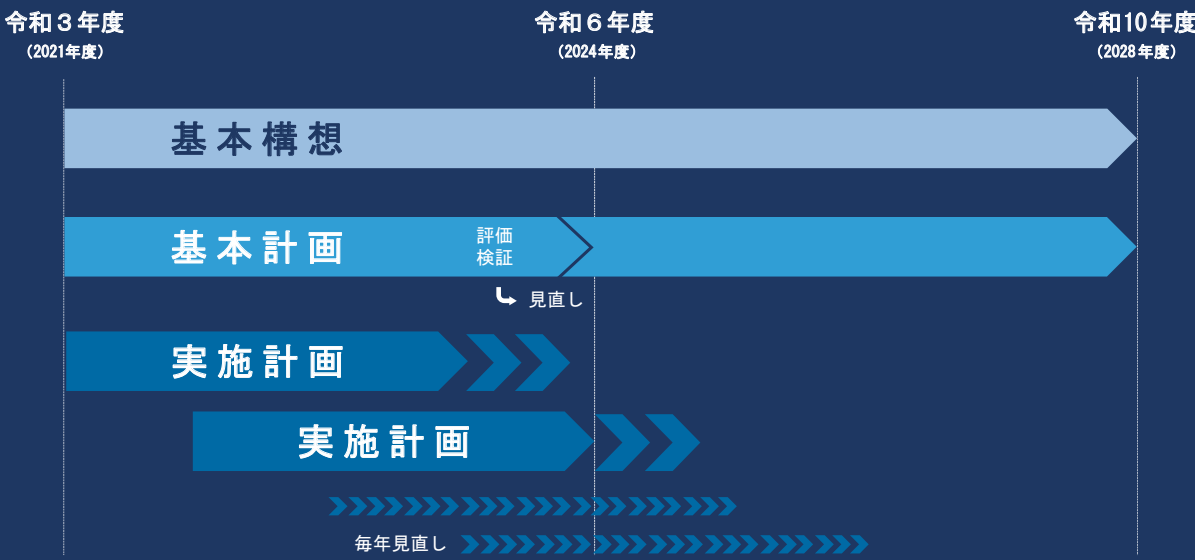
総合計画

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成する、市政を運営するための基本的な指針です。



計画期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和10年度（2028年度）までの8年間です。
基本計画は、4年目に評価・検証し、必要に応じて見直しを行い、実施計画（3か年計画）は、ローリング方式により毎年見直します。



政策 I みんなが健康で自立した生活ができるまちづくり

まちに子どもの笑顔があふれ、市民一人ひとりが生きがいを持って元気で健康に暮らすことができれば、まち全体が元気になります。未来の宝である子どもを安心して産み育てることができ、すべての子どもが健やかに成長できる環境を整え、「全国に誇れる子育て」のまちづくりを進めます。また、誰もが自分らしく自立して暮らし続けられるよう、市民の健康づくりや福祉施策、地域医療の充実に努め、地域全体で市民の元気で健康的な生活を支える地域づくりを推進し、地域共生社会の実現を目指します。

分野ごとのビジョン

- 健康づくり・地域医療**
誰もが安心して暮らせる保健・医療が充実したまちづくり
- 地域福祉**
地域で助け合いつながり合って住み続けられるまちづくり
- 子ども・子育て支援**
誰もが安心して健やかに子どもを産み育てられるまちづくり
- 障がい者福祉**
障がいの有無にかかわらず支え合い尊重し合うまちづくり
- 高齢者福祉**
高齢者の暮らしと生きがいを共に創るまちづくり
- 社会保障**
誰もが健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

主要な施策の例

- 3-3 ▶ 保育所等利用待機児童の解消

成果指標の例

- 3-3 ▶ 保育所等利用待機児童数



政策 III 豊かな心と生きる力を育むまちづくり

子どもが心豊かに成長する社会を創ることは、みんなの願いであり、私たちのしあわせのために必要です。未来を担う子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む社会を創ります。また、本市の豊かな歴史や文化に触れることにより、郷土に愛着と誇りの持てる人を育むまちを目指し、生涯学習や芸術文化、スポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。

分野ごとのビジョン

- 学校教育**
一人ひとりが輝き生きる力を育むまちづくり
- 生涯学習**
生涯活躍できる力を地域と共に育むまちづくり
- スポーツ**
生涯スポーツによるいきいきと暮らせるまちづくり
- 歴史・文化**
文化芸術活動が活発で歴史・文化資源を生かしたまちづくり

主要な施策の例

- 1-1 ▶ 確かな学びを育む教育の推進

成果指標の例

- 1-1 ▶ 「授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている」と答えた児童生徒の割合



政策 II 安全で安心な暮らしを実感できるまちづくり

安全で安心な暮らしを守ることは、まちづくりの基本となるものです。南海トラフ巨大地震や気候変動に伴う豪雨等の災害発生に備えた、市民や企業との対話による地域防災力の向上を図るとともに、消防・救急体制の充実、あらゆる暴力や虐待の根絶、防犯・交通安全対策、消費者保護など、市民が安心して暮らすことができる安全なまちづくりを進めます。また、すべての市民がお互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、地域のつながりや支え合い、主体的なまちづくり活動に対する支援や男女共同参画・ジェンダー平等社会の実現に向けた環境整備を進めます。

分野ごとのビジョン

- 防災・消防**
市民生活を守る安全・安心のまちづくり
- 交通安全・防犯**
安全で安心して暮らせるまちづくり
- 人権・男女共同参画**
誰もがお互いの人権と多様性を尊重し認め合うまちづくり
- コミュニティ**
誰もが自ら考え主体的に参加できるまちづくり

主要な施策の例

- 3-2-1 ▶ 男女共同参画・ジェンダー平等の意識づくりの推進

成果指標の例

- 3-2-1 ▶ 「社会全体」における男女の平等意識について「平等」と考えている市民の割合



政策 IV 地域資源を生かした新たなにぎわいと活力を創出するまちづくり

人口減少社会の克服には、経済の活性化はもとより、移住・定住人口や関係・交流人口の増加による地域の活力の創出が不可欠です。四国横断自動車道や阿南安芸自動車道の開通による交通の利便性の向上を視野に入れ、関係団体や事業者とも連携して農林水産業や商工業の振興を図るとともに、新産業の創出や企業立地を推進し、雇用の拡大に努めます。また、「光のまち」や「野球のまち」、「SUPタウン」など、本市の“顔”としての地域ブランディングはもとより、地域資源を活用した観光などの新事業の創出、中心市街地の活性化などに取り組み、移住・定住の促進や関係・交流人口の拡大につなげ、地域の活力を創出します。

分野ごとのビジョン

- 農業・林業・漁業**
持続可能な農林漁業のまちづくり
- 工業**
産業振興で活力あるまちづくり
- 商業**
商業の振興によるにぎわいと豊かなまちづくり
- 観光**
豊かな地域資源を生かした観光・スポーツツーリズムのまちづくり
- 雇用環境**
誰もがいきいきと働き続けられるまちづくり
- 交流**
地域資源を生かした関係人口の創出・拡大と持続可能なまちづくり

主要な施策の例

- 2-1 ▶ 既存企業の操業拡大と応援態勢の強化

成果指標の例

- 2-1 ▶ 市内主要企業で働く従業員数



政策 V 自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり

快適かつ安全に暮らすことができる都市基盤の構築に向け、利便性の高い市街地や快適な住環境の形成、道路・橋りょうの適正な整備と維持管理、公共交通の利便性の向上及び上下水道の適正な管理・運営に努めます。また、本市の豊かな自然環境や生物多様性を計画的かつ適正に保全し、持続的な利用による地域の活性化を図るとともに、循環型社会の実現を目指します。さらに、情報通信技術（ICT）を活用して地域課題を解決する「シビックテック」などを推進し、利便性の高い行政サービスの提供と市民満足度の向上を目指します。

分野ごとのビジョン

- 1 土地利用**
自然環境と都市機能の調和のとれた暮らしやすいまちづくり
- 2 自然環境**
豊かな自然環境と調和する持続可能なまちづくり
- 3 市街地整備・都市景観**
官民連携で人が集う個性的で魅力あるまちづくり
- 4 道路・交通**
快適な道路交通環境の整備による安全・安心なまちづくり
- 5 公園・緑化**
安全・安心で快適な緑の憩いの広場を提供するまちづくり
- 6 循環型社会**
環境にやさしいまちづくり
- 7 住環境**
快適で暮らしやすい住環境を守るまちづくり
- 8 上下水道**
安全・安心な水ときれいな川を守るまちづくり

主要な施策の例

- 2-2 ▶ 持続可能なエネルギーミックスの推進

成果指標の例

- 2-2 ▶ 次世代エネルギーに関する勉強会等の開催回数

未開催

2024 年

2 回



政策 VI 市民と共に創る持続可能なまちづくり

たとえ人口が今より少なくなったとしても、みんながしあわせに暮らせるまちであるためには、「持続可能な新しい社会」への転換が必要です。地域課題や将来課題を市民と共有し、市民が市政に参画する機会の拡大を図り、市民一人ひとりが自ら考え、将来に責任を持って共に行動していく市民自治力の高い市政を推進します。また、新たな行政需要に対応できるよう、「選択と集中」による行財政改革に取り組み、持続可能な行財政基盤を確立します。

分野ごとのビジョン

- 1 シティプロモーション**
イメージアップ及び知名度向上によるにぎわいのあるまちづくり
- 2 市民参画**
ふるさとの未来を共に創る市民協働のまちづくり
- 3 行財政運営**
将来にわたり持続可能な行財政運営を進めるまちづくり
- 4 広域連携**
近隣自治体との連携による活力あふれたまちづくり

主要な施策の例

- 2-1 ▶ 「出前市長」の推進

成果指標の例

- 2-1 ▶ 「出前市長」の開催回数

未開催

2024 年

12 回



本編は、こちらから
ご覧いただけます。



阿南市総合計画 2021▶2028 咲かせよう夢・未来計画 2028 [概要版]

発行日 令和3年3月
発行 阿南市
〒774-8501 徳島県阿南市富岡町トノ町12番地3
☎ 0884-22-1111 (代表) FAX 0884-22-6772
URL <https://www.city.anan.tokushima.jp>
編集 企画部 企画政策課

阿南市イメージアップキャラクター
「あななん」



